



株式会社あわわ
代表取締役社長
岩佐乃介氏より

インターンシップとアルバイトは違います。アルバイトの学生さんには現時点で達成できるであろうミッションを依頼します。インターンシップの学生さんには、こちらの想定を上回る仕事やアイデアを期待し、難しいミッションを依頼します。その分、ハードルは高く、しんどい時期もありますが、その先には想定以上の達成感が待っています。また、この経験を面白がる事ができれば、ワークスキルだけでなく人間力も格段に上がりますよ。

大塚テクノ株式会社
人事総務部
千葉雄介氏より



インターンシップでは様々なことを経験して下さい。初めての経験であれば苦労することも多いと思いますが、それを乗り越えた時の達成感や充実感は他で得られるものではありません。また、自分自身の成長はなかなか気づきにくいものですが、考え方やものの見方を学ぶことによって、ひと回りもふた回りも成長できると思います。苦勞を厭わずインターンシップを存分に満喫してください。



株式会社 CLIP
情報責任者
江本大輔氏より

インターンシップは今しかできない最高のチャンスです。皆さんは様々な会社の様々な業務を行うことによって、一足先に社会に触れることになります。初めての体験なので、失敗や苦労も多いと思います。ただ、それすらも貴重な体験とすることができれば、この機会に得られるものは無限大です。このインターンシップをどのようなものにするか、それは自分自身にかかっていると思い取り組んでください。

編集後記

昨年のインターンシップにおいて、私たち1期生は学生としてではなく、社会人と対等の立場でミッション達成に向けて取り組む中で様々な経験をしてきました。インタビューを通して、そうした経験を乗り越えた今だからこそ感じる各々の学びがあることが伺えました。1期生たちはたくましさや自信を身につけているのだと思います。

そんな彼らの中にもインターン当初は「自己成長のため」「周りの大人に行ってみれば良いと言われたから」「何か面白いインターンはないかと思った」…といった理由で参加していた人も多くいます。去年の今頃、1期生も皆さんと同じように期待や不安や迷いを抱えていました。

これから事前研修が始まりますが、「リサーチの方法がわからない」「レポートのまとめ方がわからない」「何をやってるのがわからない」「思ったより難しい」「大人には言いづらい…」などあれば1期生がお答えするのいつでも呼んでください！

→お問い合わせはこちら
電話 :088-656-9885
FAX:088-656-9880
E-mail:coc-plus@ml.tokushima-u.ac.jp



1期生、片倉・篠原



▲表紙撮影のために集まってくれた1期生と
写真家久保



インターンに少しでも興味がある君！
ちょっとでも覗いてみたいというあなた！
いつでもCOC+に顔をだしてみてください！！
優しいお姉さんの存在の宮本さんと、いい意味で変な大人の川崎さんが待っています！

制作
にゅーすれた一部
片倉 篠原
その他1期生一同



実践力養成型 (寺子屋式) インターンシップ

NEWSLETTER



Presented By 1期生

平成28年度実践力養成型インターンシップに取り組んだ1期生は35名。

(1年生4名、2年生5名、3年生24名、4年生2名)

受け入れてくださったのは7団体さまです。

今回、2期生の皆さんにエールをお届けするのは1期生7名、COC+事業の推進監の先生2名、前年度インターンシップで1期生を受け入れてくださった団体さまから3名です。

2期生の皆さんのチャレンジを心から応援しています！

平成28年度

平成29年度

1期生から2期生へ



つらいトレーニングでビッグになれ!

このインターンシップの意義は、「役に立つ」という経験ができることでしょう。大学では、学んだことを「誰のため」に使うのかを知る機会、まだまだ少ないのが現状です。ぜひ、このインターンを通じて社会に身をおくことで、お客さまと時間の存在を体感してほしいと思います。また、インターン中に関わりをもつ多様な大人たちと、ぜひつながりをもっておいてほしいと思います。将来、実際に仕事をするようになったときに必ず財産になります。最後に、このインターンは、言わば「社会に出るための基礎トレーニング」です。今の自分が「できることを知る」絶好の機会です。つらいトレーニングになるかもしれませんが、ビッグになるために頑張れ!

山中英生先生
徳島大学COCプラス推進本部推進監

インターン
開始時に
購入した
ペン

ほとんどインクが
なくなるまで
使いこみました!



見える景色が変わるはず

@八重地

私はインターンを通して、知らなかった自分、モノの見方… たくさんの「知らないこと」に出会いました。私にとって、そうしたことに気付かずにいるのは怖いこと。ぜひ、このインターンに「ガチ」で取り組んでみてください。きっと、見える景色が変わります。

資料を見ながら振り返る清水さん

楽しめたら続くよ

何事も自分次第。物事の「捉え方」が変わると、それで見え方が全然変わるよ。一步踏み出して、なんでもチャレンジしてみてください。新しい「捉え方」に出会えるから。このインターンがそんな機会になると嬉しい。頑張ってくださいね!



@榎原

ただやっついでだけだったんで。

途中でやめたらカッコ悪いやん、目の前の課題をただ必死にやってきました。と語る中谷君。本人はインターンの中で自分に変化は見られないと言っていたが、プロジェクトを進めていく中で苦しい時期はたくさんありました。それでも最後までやり遂げられる中谷篤人という人は本当に漢でした。インターンをやり遂げた経験は今後の彼にとって大きな糧になっていると思います。(篠原代筆)



背中が全てを物語ってくれた中谷君▲

名前:中谷篤人
学部:総合科学部
学年:2年
現在の活動:剣道部
ワンダーフルーツ

名前:末菅悠人
学部:総合科学部
学年:4年
主な出先:kin堂、カラオケ

厚みが15cmほどあって
持ち運ぶだけで体力がつかさうです。

インターンで
使用していた
資料 &
レポート

エントリー確定時を思い出してスキップする末菅君

主体的に取り組もう

インターンをやってよかったのは、実際に働くとはどういうことなのかを、具体的なイメージを持って考えられるようになったこと。2期生のみんなにはぜひ、「今」やることに、後の仕事に活かすつもりで取り組んでほしいと思います。インターン、大学の講義、サークル、アルバイト…たくさんのやるべきことがあるかと思いますが、うまくセルフコントロールして取り組んでみてください!

インターン生全員が書いていたレポート

まずは観察してみよう

各受入団体さまにいただいたミッションには、「郷に入っては郷に従え」の心構えをもって取り組んでほしいと思います。まずは、その地域の文化、企業文化、組織文化を観察してみるところから始めましょう。あまり張り切りすぎて、最初から突っ走ってしまわないように。地域の方々や受入先さまとの信頼関係を少しずつ築く中で、学生の身分や発想を活かして、ミッション達成に向けて邁進してほしいと思います。

玉真之介先生
徳島大学COCプラス推進本部推進監

びっしりのページをみると
自分でもびっくりします。

使用していた
ノート

名前:片倉悠暉
学部:工学部
学年:4年
主な出先:
COCプラス事業部

知らないことへの挑戦

見たことない、やったことないことへの挑戦には期待と不安があって、思い描いたようにはいかないこともあるかもしれませんが、でも、試行錯誤して取り組むことが、必ず自分を成長させるので、頑張ってください!

プチ

1期生座談会



昨年度、有限会社榎山農園様にてインターンに取り組んだ知能情報工学科4年の向井麻美さん(左)、岡田佳奈さん(右)に對談していただきました。

—2人はなんでインターンをやろうと思ったんですか?
岡田「私は社会に出て仕事をすることってどういうことなのかを経験してみたかったですね。」
向井「私はモノ作りしかできない工学部になりたくなかったから。モノを「何のために」、「誰のために」作るのかわりたかったし、体験してみたかったです。」
—インターンで、特に大変だったのはどんなことですか?
岡田「チームメンバーは全部で8人いて人によってモチベーションが全然違いました。その分、報連相や話し合いが難しかったです。メンバー全員の足並みがなかなか揃わなかったです。」
向井「ミッションへの責任の感じ方。も人によって全然違ったので、それぞれの出す成果にも差が出ましたね。正直メンバーに腹が立って仕方がなかったこともあります。(笑)」
—それでも頑張ったのはなぜ?
向井「岡田さんがいたからです。私は各人のミッションに取り組む姿勢や想いを重視するところがあるので、モチベーションが低い人に対して腹がたつことがあるんです。でも岡田さんはメンバーがどんな人でも仕事を着実に進めていく。岡田「私も向井さんがいたからですね。私は個人で作業を進めていくことが得意で、人を顧みないところがある。でも、向井さんの人をよく観察しているところを見て、チームでやっていくにはどうしたらいいかを考えて働きかけることも大事なんだと学ばせてもらいました。」
—2人はお互いの特性を認め、補い合っていたんですね。最後に、2期生に向けてのメッセージをお願いします。
向井「学生気分はほとんどにね!」ですかね。(笑)でも、せっかくのチャンスなので、ぜひ自分をさらけ出して、本気で自分とミッションに向き合ってくださいと思います。
岡田「インターン中、本当にいろいろなことがあると思うけど、「何を学ぶとするか」が大切だと思います。適当にやってもしんどいだけ。要はやるか、やらないかです。頑張れ!」